

株式会社アトス・インターナショナル(ミュージック・エア)
番組審議委員会 議事録

1. 日時：2026年7月9日(木) 15:00～15:40

2. 場所：株式会社アトス・インターナショナル本社 会議室

3. 出席者：(敬称略)

○番組審議委員

番組審議委員長 齋藤 純一(株式会社インプレスホールディングス 監査役)

番組審議委員 五十嵐 弘之(日本コロムビア株式会社 取締役 CFO、株式会社ドリーミュージック
取締役)

番組審議委員 谷口 元(株式会社東京谷口総研 代表取締役社長)

番組審議委員 佐藤 毅(ゼフロユナイテッド株式会社 代表取締役社長)

番組審議委員 松山 梢(映画ライター)

番組審議委員 隈本 公伸(株式会社 DBI 代表取締役社長)

番組審議委員 田中 良典((元) 株式会社ヤマハミュージックアーティスト 代表取締役社長) (書
面参加)

番組審議委員 望月 秀城(株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 経営企画グループ
シニア アドバイザー) (書面参加)

○放送事業者：(敬称略)

株式会社シーエス・ワンテン

代表取締役社長 船越 昇

編成局長 川北 桃子

○番組供給事業者

株式会社アトス・インターナショナル

堀口 昭典(代表取締役社長)

木村 俊央(取締役 メディア企画部 ミュージック・エア編成チーム長)

井上 靖(執行役員)

4. 放送事業者から説明

株式会社シーエス・ワンテンより 110 度 CS の概況について

5. 報告事項

①ミュージック・エアの編成方針・内容

往年の洋楽を中心とした大物アーティストの番組を中心に放送。昨年から今年にかけては、エルヴィス・プレスリー、アレサ・フランクリン、フレディ・マーキュリー、ホイットニー・ヒューストン、プリンス、マイケル・ジャクソン、ノラ・ジョーンズ、オアシス、マライア・キャリー、レディー・ガガ、ディープ・パープル、ジャネット・ジャクソン、ブルース・スプリングスティーン、レッド・ツェッペリン、アリアナ・グランデなど大物の周年・来日・映画公開などのタイミングに合わせた特集番組を放送。

音楽ジャンルの割合は、洋楽、ロック・ポップス 66%、海外ジャズ 9%、その他オリジナル番組等で 25%。洋楽ロック・ポップスの中での年代の割合としては、チャンネルの核となる 60 年代・70 年代がそれぞれ 27%（計 54%）と過半数を占めている。

視聴者層については、スカパーの視聴データを基にした直近 1 年のデータによると、50 代女性が最も多く、次いで 60 代男性、50 代男性、40 代女性の順となっている。全体の男女比率は女性 57%、男性 43%と女性の割合が高い。従来のアプローチに加え、国内を中心としたダンスボーカルグループのレギュラー番組や、国内ミュージカルを取り上げた情報番組といった「チャンネルとしての新しい取り組み」により、40 代～50 代を中心とする女性視聴者層が拡大している。

6. 番組内容審議

<番組概要説明>

番組名：「ジェフ・ベック：ライヴ・アット・ザ・ハリウッド・ボウル」

2023 年 1 月 10 日に死去した世界三大ギタリストのひとり、ジェフ・ベック。1965 年に「ヤードバーズ」参加後、リーダーバンド「ジェフ・ベック・グループ」、「ベック・ボガート&アビス」を経てソロとして活躍。

本公演はジェフ・ベックのデビュー 50 周年を記念して、2016 年 8 月にロサンゼルスハリウッド・ボウルで開催されたスペシャル・コンサート。ヤードバーズ時代からソロにいたるまで、2016 年までの歩みを総括する多彩な楽曲を披露。ゲストには、エアロスミスのスティーヴン・タイラー、グラミー受賞キーボード奏者ヤン・ハマー、ブルース界の大御所バディ・ガイ、ZZ トップのビリー・ギボンズら豪華な顔ぶれが集結。本作はジェフ・ベックの命日である 2026 年 1 月 10 日にミュージック・エア初放送。

【番組情報】98 分番組／制作年：2016 年（初回放送日：2026 年 1 月 10 日ミュージック・エア初放送）

<委員からの意見>

◆まさにこのチャンネルにふさわしい優良なコンテンツです。曲の始まりには解説コメントがテロップで表示されており、そういった意味でも非常に親切な作りになっています。

◆ジェフ・ベックの手元に字幕が重なっている部分があり、ファンからすると少し不満に感じてしまうかもしれません。

◆2025 年 2 月には Char 氏によるジェフ・ベックのトリビュート公演が元バンドメンバーを迎えて開催されていたため、そのタイミングに合わせる形での放送でも良かったのではないかと感じます。

◆ゲストミュージシャンの情報や時代背景、楽曲の解説などがテロップで簡潔に紹介されていたため、初心者にとっても入門編として楽しめる内容だったと思います。

◆音楽には過去の思い出をフラッシュバックさせてくれるパワーがあります。それも、不思議と楽しくて良い思い出ばかり。この番組を観て、改めてそんなことを考えました。一人でしみじみと浸るのもいいですが、このような番組を中学校時代の友人たちと集まって観たら、涙が出るくらいに大盛り上がりできるだろうなと思いました。

◆映像の編集や音に関しては非の打ちどころが無く、ジェフ・ベックのファンもゲストアーティストのファンも楽しめる内容だと感じました。

◆ヤン・ハマーとジェフ・ベックの再会は感動的でしたし、ヤン・ハマーのシンセサイザーとジェフのギターによるインプロビゼーションも素晴らしかった。彼らが活躍した 70 年代を思い出して、感慨深かった。

◆このような歴史的価値のある素晴らしいライブ映像を、これからも世界中から数多く集めて放送していただきたいです。

<番組供給者からのコメント>

テロップ表示に関しましては、これまで皆様からいただいたご意見を基に、出演者や楽曲の説明文を追加するなど改善を図ってまいりました。しかしながら、今回はジェフ・ベックがギタリストであるにもかかわらず、その手元にテロップが重なっているところのご指摘をいただきました。

今後はアーティスト個々の特性や見どころを事前によく見極め、テロップの配置や表示タイミングにより一層留意してまいります。



- ・審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：
今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和 8 年 7 月 9 日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で、活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

- ・審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：
令和 8 年 8 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上